

# 秋葉区(新津地域)における景況調査の結果概要(2022年1月~3月期)

1. 調査対象 100事業所(有効回答数75社、回答率75%)

2. 対象期間 2022年1~3月期実績 及び 2022年4~6月期の見通し

## 3. 調査結果の概要

全業種とも業況DI値(好転の割合から悪化の割合を引いた値)は、マイナス圏内となっており、4~6月の先行きについてもマイナスの見通しとなっている。卸売業は、前回調査に比べると好転しているが今後の見通しは悪化傾向を示している。

新型コロナウイルスの経営に与える影響については、悪影響が36%、今後悪影響が9%、合計で42%になっており、前回調査に比べるとやや好転している。国や県、市の新型コロナウイルス支援策の利用は、利用したが44%、今後利用するが15%、合計で59%となっている。

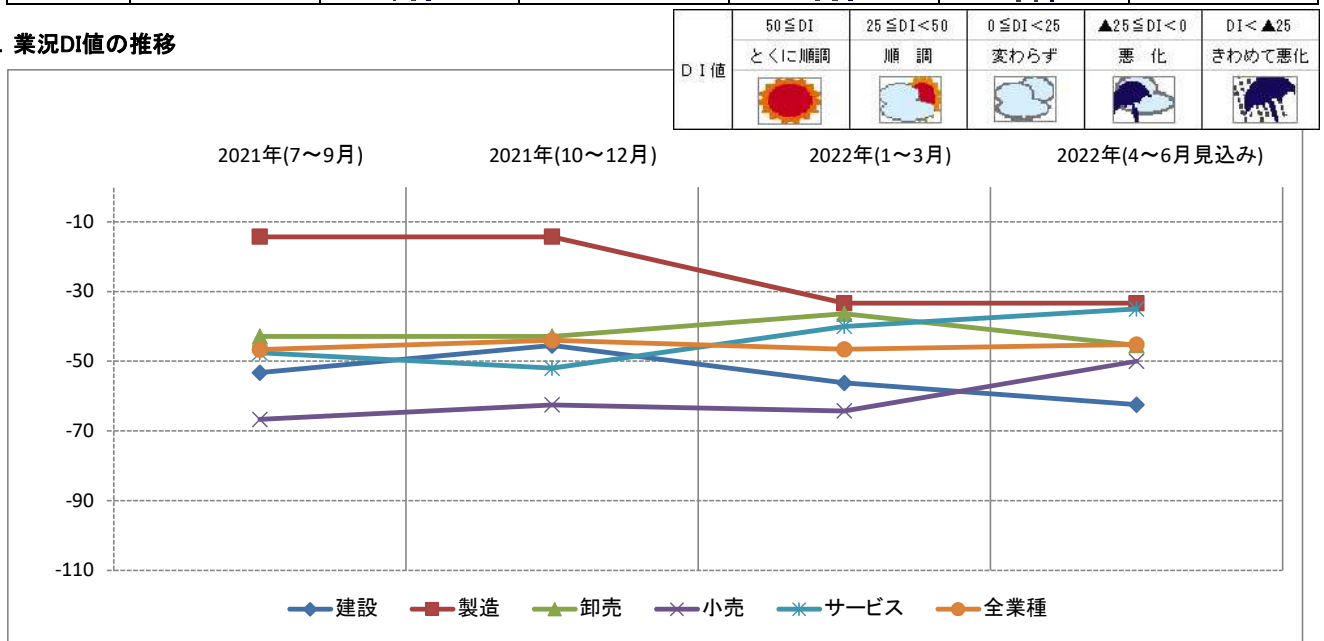
経営上の問題点については、多い順に「需要の停滞」「経費の増加」「原材料の不足」「人件費の増加・圧迫」「単価の低下・上昇難」、小売業とサービス業では「需要の停滞」がもっとも多く、建設業では「経費増加」が多く散見された。

設備投資については、「OA機器」「生産・販売等の機械設備」などであるが、全体に低調な状況となっている。

## 4. 業種別項目別のDI値※( )は見通し

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	△ 56.3 ( △ 18.8 )	△ 25.0 ( △ 8.3 )	△ 18.2 ( △ 18.2 )	△ 28.6 ( △ 42.9 )	0.0 ( △ 20.0 )	△ 24.7 ( △ 21.9 )
仕入単価	△ 68.8 ( △ 81.3 )	△ 58.3 ( △ 58.3 )	△ 54.5 ( △ 45.5 )	△ 50.0 ( △ 42.9 )	△ 40.0 ( △ 40.0 )	△ 53.4 ( △ 53.4 )
採算	△ 62.5 ( △ 68.8 )	△ 25.0 ( △ 33.3 )	△ 9.1 ( △ 18.2 )	△ 42.9 ( △ 50.0 )	△ 30.0 ( △ 25.0 )	△ 35.6 ( △ 39.7 )
資金繰り	△ 6.3 ( 0.0 )	△ 16.7 ( 8.3 )	0.0 ( 9.1 )	△ 35.7 ( △ 35.7 )	△ 20.0 ( △ 10.0 )	△ 16.4 ( △ 6.8 )
従業員数	△ 6.3 ( △ 25.0 )	8.3 ( 0.0 )	0.0 ( △ 9.1 )	△ 7.1 ( 0.0 )	△ 10.0 ( △ 15.0 )	△ 4.1 ( △ 11.0 )
業況	△ 56.3 ( △ 62.5 )	△ 33.3 ( △ 33.3 )	△ 36.4 ( △ 45.5 )	△ 64.3 ( △ 50.0 )	△ 40.0 ( △ 35.0 )	△ 46.6 ( △ 45.2 )

## 5. 業況DI値の推移



## 6. 新型コロナウイルスの経営への影響

悪影響	今後悪影響	影響はあったが回復	影響なし
36%	9%	34%	21%

## 7. 新型コロナウイルスに関連した支援策の利用状況

利用した	今後利用する	利用予定なし
44%	15%	41%

この調査は、新津商工会議所が秋葉区(新津地域)における企業の景況動向を把握するために全業種を対象に四半期毎に実施しています。